

OT 県士会向け【春のセミナーご案内】

発達協会が主催する春のセミナーのご案内です。発達障害・知的障害のある子の指導に役立つ具体的な内容を現場経験豊富な講師陣よりお話いたします。

春のセミナーA 2月11日(土)

不注意な子への理解と支援—「集中困難・忘れっぽさ」のメカニズム

授業に集中できない、忘れ物が多い等、日常生活で困難を抱える子どもがいます。不注意さが原因にある失敗を積み重ね、自己肯定感が低くなってしまいうことも少なくありません。「集中して課題に取り組めた」といった成功体験を増やすには、どうすればいいでしょうか。このセミナーでは不注意について理解を深め、環境の整え方や子どもの注意・集中を促す関わり方をお伝えします。また、不注意さへの診立てや薬物療法についても学びます。

①不注意についての診立てと対応 宮島祐先生(東京家政大学)

②注意・集中のコントロールが弱い子への支援①—不注意の要因と基本となる対応

長澤正樹先生(新潟大学)

③注意・集中のコントロールが弱い子への支援②—アセスメントから導く支援の実際

長澤正樹先生(新潟大学)

春のセミナーD 2月12日(日)

あそびを通じた発達支援—幼児期・学童前期を中心に

あそびは身体感覚、粗大運動、手先の巧緻性、社会性等を育てる上で重要な役割を担っています。しかし発達障害・知的障害のある子は年齢相応にあそべず、学ぶ機会を逃していることがあります。今回は感覚統合の視点からあそびをとらえ、理論とともに幼児期から学童前期の実践例をご紹介します。また園や学校等、集団参加の場で欠かせない、ルールのあるあそびを苦手とする子への対応法もお伝えします。明日から実践できるスキルが満載のセミナーです。

①発達障害・知的障害のある子どものあそびとは—「感覚」への理解をふまえて考える

伊藤祐子先生(首都大学東京)

②発達障害・知的障害のある子どものあそびの実際—「感覚」を磨くために

伊藤祐子先生(首都大学東京)

③ルールのあるあそびを教えるコツ—社会性の視点から

三島節子先生(LD発達相談センターかながわ)

《時間》各日 10:15~16:20(受付 9:30より)

《定員》約80~250名(定員になり次第、随時締め切ります)

《会場》東京ファッションタウン(TFT)ビル 東京都江東区有明3-6-11

最寄駅:りんかい線「国際展示場」駅、ゆりかもめ「国際展示場正門」駅

《受講料》各9,050円(税込)(会員8,220円(税込))

《申し込み》お電話・FAX・発達協会ホームページ <http://www.hattatsu.or.jp/>

から、お申し込みいただけます。

《ご注意》・同じ日程で開催されるセミナー(例:春A,春B)を申し込むことはできません。